



百花繚乱！ 上海万博イベント会場案内

上海万博開催まで100日を切った現在、訪問客の心を躍らすさまざまなイベントが準備されている。イベントの内容はまだまだ煮詰めている段階だが、イベント会場は完成した姿を見せるものも多い。今号では、その外観や仕掛けをご紹介します。それだけでもイベントに寄せる期待は大きく膨らむはずだ。

パフォーマンス・センター

UFOの形をした上海万博パフォーマンス・センターは敷地面積が45000平方メートルある。4000席、8000席、12000席、18000席に変化する国内初めての客席数可変劇場であり、さまざまな演出活動に対応できる。舞台もプロセニアムステージやアーナスステージなどと自在に変更したり、組み合わせたりすることができ、演出に芸術創造の可能性を無限に広げる。万博期間中に、中国東方歌舞団はここで260回を超える上演を行う予定である。

宝鋼大舞台

上海鉄鋼第三工場特殊鉄鋼工場を改造してできた宝鋼大舞台は、都市の工業遺産を有効に利用。半開放式の構造になり、開放的な舞台だ。ここには、空調設備は設けられないが、全面的に立体緑化システムが施され、観客が快適に過ごすことができる。

内部には大小二つの舞台があり、万博期間中は全国の省、自治区、直轄市が開催するイベント週間の会場として使われる。

江南広場

浦西の万博会場にある。その主体は三つのドックとその東西両側にある博覧広場と船台広場からなっている。そのうちの2号ドックは百年の歴史をもち、歴史建築として本来の姿がほぼそのまま保存されて、その上に見学者専用通路だけを架け渡した。

1号と3号ドックは子ども向けのパークとして改造。1号ドックは劇場と変身し、3号ドックは未来の職業体験をテーマにしたパークとなっていて、ままごと遊びのように25の部屋で、パン屋さん、新聞社など、それぞれ違う職業を体験することができる。

五大陸で命名した広場

万博会場に五大陸で命名した広場は5つある。面積は4000〜6000平方メートルあり、骨組み式の舞台が一つずつ設けられている。固定した観客席はないが、移動可能な席は最大800設置できる。各広場の舞台設計は「中国花窓」をコンセプトにし、空中から俯瞰すると、それぞれ漢字になっいて、中国要素を取り入れたモダンな舞台として完成。

万博会場中に、それぞれの舞台は地域を

代表する風情豊かなプログラムが上演され、観客は文化芸術の角度から世界を見ることが出来る。

セレモニー広場

万博会場のメインストリート一番先端に位置するのがセレモニー広場である。白と黒の二色を用いた舞台はモダンに映されている。その背後は黄浦江の畔であり、開幕イベントにおいて花火が打ち上げられる。

セレモニー広場の前に長方形のエリアが設けられ、「水鏡」と名づけられている。ここは周辺よりわずか3ミリ低い極浅池である。風が吹くと、さざ波を表面にしている。

設計者は上海グランドシアターを担当したフランス人建築士のジャン・マリ・シャープンチ氏である。一面の水鏡を通して、万博センターやパフォーマンスセンターなど周りの建築物とここを訪れる人々の影が映り、自然、人、建築を奇妙に融合している。

万博の会期中、中国各省、自治区、直轄市のイベント週間はここをメイン舞台に行われる。ここでの催しは毎日3〜5回あり、毎回45分間以内となっている。また、街頭パレードも1〜2回行われる予定となっている。

イベント紹介

イベント	内容紹介	時間	場所
盛装大パレード	大型盛装パレード。「笑顔で都市の未来を歌おう」がテーマ。	5月1日～10月31日	浦東博成路西段と浦西龍華西路
テーマショー「都市の窓」	スペイン、上海メディアグループ（SMG）、台湾芸術推進協会が共同で制作。音楽と舞踊の形で、愛と調和と感動を演出する。	万博会期中	後灘広場
東方歌謡団の特設会場公演	万博のために制作した大型音楽舞踊会、世界と中国各民族の歌や踊りを風情豊かに表現する。東方歌舞団と上海地元の芸術家により共同で演出する。	万博会期中、月曜～金曜	パフォーマンスセンター
雑技「CHA」	上海万博のために制作したショー。中国茶をテーマに、武術、マジック、歌、踊り等さまざまな芸術様式を取り入れて中国の伝統文化を表現する。	5月1日～6月30日	総芸ホール
少林カンフー劇	少林寺カンフーを主体とし、武術とモダンダンスを融合させた舞台ショーで、少林寺武芸の美学と哲学を表現する。	7月1日～8月31日 5月1日～10月31日	総芸ホール 総芸広場
武当カンフー劇「武当・太極道」	道教の教義に基づき、武当の伝統カンフーを通して、養生カンフーの実演で「道」文化を解釈する。	7月1日～9月30日	船台広場
「中国エレメント」実演	実演、伝習、展示などの形で、無形文化遺産を含む芸術、伝統技能、民間特技等を紹介し、伝統文化と現代生活との融合の魅力を伝える。	5月1日～10月31日	宝鋼大舞台
万博合唱祭	2010年紹興市第六回世界合唱コンクールに参加する各国の優秀合唱団、音楽大学、上海地元の合唱団からなる2010人の顔ぶれが世界の名曲や万博の歌を披露する。	7月21日	パフォーマンスセンター
万博都市広場芸術祭	世界各地から来る22の大道芸人集団が即興的な芸を披露し、人の流れを誘導し、楽しい雰囲気を作る。	万博会期中	万博会場内の組級広場、待合エリア、公共区域
育楽湾	7～15歳の子供を対象とした未来の職業体験パーク	万博会期中	江南広場3号ドック
人形劇「西遊記」	中国の古典名作「西遊記」を題材に孫悟空を主人公にした人形劇	5月1日～8月8日	1号ドック
影絵芝居「三国演義」	中国の古典名作「三国誌」を題材に諸葛孔明を主人公にした影絵芝居	5月1日～8月8日	1号ドック
「『セサミストリート』の魔法地図」	アメリカの有名番組「セサミストリート」に出てくるキャラクターと上海万博のマスコット海宝が主人公。娯楽性、知識性と観客との連動を一体にし、ハイテクな舞台セットを配する。	万博会期中	1号ドック
多媒体劇「海宝が来た」	海宝が来場者に未来都市を案内する	万博会期中	1号ドック
天下一家	上海万博のためのハイテクインタラクティブな体験型イベント。上海、ミラノ、東京の3家庭が空間障害を乗り越え、心の距離を縮め、絆を強める物語。未来家庭の低炭素ライフスタイルも体験できる。	5月1日～10月31日	後灘広場
イノベーションの旅	体験型プロジェクト。世界中から募集した100のイノベーション・プロジェクトをもとに、一連の活動を来場者と連動して展開する。	5月1日～10月31日	後灘広場
若者のシリーズ活動	「笑いの広場」をコンセプトに、若者を対象に展開する音楽、曲芸などの各種大型テーマ公演。	万博会期中	博覧広場
コミュニティー文化展示	一般応募の形から選ばれたプログラムで、上海のコミュニティー文化と市民の姿を披露する。	5月1日～10月31日	組級広場

※イベント情報の詳細は当日の会場内予告をご参照下さい